「認知症にやさしいまち　呉モデル」について（案）

資料１０

目的：認知症を早期発見し対応することで重症化を予防し，認知症が発症しても，住み慣れた地域での生活を継続できる。

（令和６年度中に事業開始に向けて協議）

	認知症早期発見対策	難聴早期発見対策	認知症による事故救済対策
理由	認知症に対する偏見・否定から受診が遅れ，認知症が重度となって発見されるケースが多く，在宅での生活が困難となる。	難聴から家族以外との交流減少，閉じこもり傾向となり認知症の重症化リスクが増す。 また，難聴による理解力低下から認知症と間違えられ他者との交流が難しくなるケースがある。	認知症による徘徊や他者への損害を恐れ，他者との交流減少，入院・入所を余儀なくされるケースがある。
現状	呉地区認知症診療ネットワークによるかかりつけ医と専門医療機関との連携診療 認知症初期集中支援チームによる相談対応 認知症地域支援推進員による相談対応	対応事業無し	対応事業無し
検討事項	認知症スクリーニング検査の導入	難聴スクリーニング検査の導入	認知症損害賠償保険・給付金制度の導入
実施方法	かかりつけ医による検診（実施場所の検討）…薬局や集団検診会場等		対象者の決定と登録
	長谷川式スクリーニング検査 MMSE検査・・・他	きこえについての質問用紙 指こすり・指タップ音聴取検査・・・他	
	専門医療機関による確定診断，治療方法の決定		
発見後対応	・かかりつけ医で治療 ・生活支援サポート ・重症化予防の取組（通いの場）へ紹介 ・各種サービスへのつなぎ	・かかりつけ医で治療 ・聴覚補助用具の補助 ・生活支援サポート	事故が起こった際に損害賠償保険・給付金の支給

サポート	地域包括支援センター，認知症疾患医療センター，呉市保健所，呉市社会福祉協議会，チームオレンジ，通いの場・・・他
職種	認知症地域支援推進員，認知症初期集中支援チーム，チームオレンジコーディネーター，生活支援コーディネーター 保健師・・・他